

修士論文(要旨)  
2019年1月

日本語<～アウ>をめぐる日中対照研究

指導 青山 文啓 教授

言語教育研究科  
日本語教育専攻  
217J3004  
謝 誉瑩

Master's Thesis(Abstract)  
January 2019

A Comparative Study of the Auxiliary Verb “AU” in Japanese and its Chinese Counterpart

Yuying Xie  
217J3004

Master's Program in Japanese Language Education  
Graduate School of Language Education  
Thesis Supervisor: Fumihiko Aoyama

## 目次

序章 .....	1
<～アウ>を研究対象にする理由.....	1
第1章 <V1+/-V2>動詞の分類 .....	2
1.1 長嶋善郎(1976).....	2
1.2 影山太郎(1993).....	4
1.3 先行研究における問題点.....	4
1.3.1 長嶋善郎の[I類]と[II類].....	5
1.3.2 影山太郎の[A類]と[B類].....	5
1.4 本稿における<V1+/-V2>の分類.....	6
第2章 用例分析 .....	8
2.1 用例の出典とその扱い.....	8
2.2 <V1+アウ>の用例.....	9
2.2.1 <V1+アウ>の動作者の現れ方.....	9
2.2.2 複数を意味する体言が動作者である場合.....	12
2.3 <V1-アウ>の用例.....	13
2.3.1 <V1-アウ>の動作者の現れ方.....	13
2.3.2 その他の用例.....	15
第3章 助動詞<アウ>に対応する中国語の表現.....	17
3.1 中国語の合成動詞.....	17
3.2 <V1+/-アウ>について中国人学習者の習得状況.....	18
3.3 <V1+アウ>と“相互～”.....	18
3.4 相互を表わす <V1-アウ>に対応する中国語の表現.....	20
3.5 <V1+アウ>と“共同～”.....	21
第4章 まとめ .....	23

## 参考文献

本稿では、まず「動詞の語幹-i/-e+動詞の語幹」を「動詞+助動詞」と「複合動詞」に二分する。「動詞+助動詞」を<V1+V2>で、「複合動詞」を<V1-V2>のように表記する。松木正恵(『新版日本語教育事典』2005:p. 93)によれば助動詞は本動詞に付加してさまざまな意味を添える補助的な動詞である。この定義を参考にすれば、<V1+V2>では<V1>が文型を持つ本動詞で、<V2>は文型を持たず、<V1>に補助的な機能を添える助動詞だと考えられる。複合動詞<V1-V2>では<V1>と<V2>が単に複合されて一つの単語になり、語全体で文型を持つ。本稿では<V1+アウ>/<V1-アウ>を対象として、日本語の用例を収集して中国語との対照分析を行なった。分析を通して助動詞アウは中国語の“相互”/“共同”を含意する副詞に対応する。つまりアウが助動詞に相当する場合には述語の機能を喪失し、述語を修飾する機能を持つようになると考えられる。

用例を利用して研究目的を簡単に説明する。

1. ここのいちばん良いところはね、みんなが助け合うことなの。  
訳文:这里最大的好处在于大家相互帮助。(本文[60]の例文)
2. 後から覗き込むようにして訊いたお延の顔と、驚ろいて振り返った継子の顔とが、殆んど擦れ擦れになって、微笑み合った。  
訳文:阿延从身后偷偷觊觎般发问的一张脸和继子惊而回顾的面庞几乎贴在一起,两人都微笑了。(本文[72]の例文)
3. 彼女は思い切って一足飛びに飛んだ。情実に絡まれた窮屈な云い廻し方を打ち遣って、面と向き合ったままお秀に相見しようとした。  
訳文:阿延决心跨出一大步,她要抛却那些碍于情面的拘谨措词, 面对面地和阿秀交锋。(本文[67]の例文)
4. アルバイト先のレストランで僕は伊東という同じ年のアルバイト学生と知り合ってときどき話をするようになった。  
訳文:在打工的饭店里我认识了另一个打工的学生,姓伊东,和我同年,两人开始不时地攀谈起来。(本文[37]の例文)
5. そのうちに店が混みあってきたので、我々は外を少し散歩することにした。  
訳文:这工夫,店里人多起来,我们便准备离开,出去稍事散步。(本文[54]の例文)

(1)から(5)まで<V2>は同じアウであるが(1)「助け合う」、(2)「微笑み合った」は<V1+V2>で、(3)「向き合う」、(4)「知り合う」、(5)「混み合う」は複合動詞<V1-V2>である。それは、(1)「助ける」、(2)「抱く」はそれぞれ主語の「みんな」「お延の顔と継子の顔」を取り、文型を持っているためである。さらに、「助け合う」「微笑み合う」ではアウは文型を持たず、「助ける」に「相互」の機能、「微笑む」に「共同」の機能を添える助動詞である。このように、助動詞であるアウが後続すると、<V1+V2>は複数と解釈される主語を要求することが分かる。一方、(3)「向く」はもともと「向き合う」と同じ「彼女はお秀の面と向いたまま」の相互状態を表わす。アウは「向く」相互の機能を添えるというより、相互の意味を強調する。そのため、「向き合う」は<V1-V2>である。(4)「知る」は「\*僕は伊東を知る」のような文型を持たず、「知り合う」は一つの単語として「僕は伊東と知り合う」のような文型を持つため、<V1-V2>である。(5)「混む」が「店が混む」のような文型を持つが、「あう」は「混む」に機能を添えない。そのため、「混み合う」は複合動詞<V1-V2>と考えられる。

さらに、陳曦(2004)が行なう60名の中上級レベルの中国人日本語学習者における<V1+アウ>の習得に関する調査によれば、学習者はもともと主語の相互状態を表わす<V1>とアウと組

み合わされた「向きあう」のような複合動詞について理解が困難である。また、調査によれば、学習者は即座に<V1+アウ>を中国語の“相互～”に対応する傾向があるため、動作者の共同動作を表わす<V1+アウ>に関する理解に困難をおぼえる。本稿では<V1+アウ>/<V1-アウ>を中国語に対応して分析する。

一般に、動作者の相互動作を表わす<V1+アウ>は中国語の「副詞+動詞」“相互～”に対応する。たとえば、(1)「助け合う」は“相互帮助”に対応する。それは日本語の「お互いに助ける」という表現と似ている。しかし、相互を表わす<V1-アウ>は中国語では動詞に対応する。たとえば、(3)「向き合う」は“～対～”に対応し、(4)「知り合う」は“认识”に対応する。さらに、動作者の共同動作を表わす助動詞アウは学習者は“相互”に対応させるが、実際は中国語の“共同”や“共同”と近い意味を持つ副詞に対応する。たとえば、(2)「微笑み合う」は“都微笑”に対応する。それは日本語で「一緒に微笑む」という表現と似ている。アウが<V1>に「相互」「共同」の機能を担う場合には中国語の副詞“相互”“共同”や日本語の連用修飾語「お互いに」「一緒に」に対応し、同じく述語を修飾する機能を持つようになる。このような場合にアウは助動詞と定義する方が適切だと考えられる。

本稿が、中国人学習者には日本語における<V1+V2>の分類や<～アウ>は母語でどのように対応するかについての理解を深める一助になることを願いたい。

## 用例出典

- 夏目漱石(1987). 『明暗』新潮社  
村上春樹(2004). 『ノルウェイの森』(上・下) 講談社  
于雷[訳](1987). 『明暗』夏目漱石[著] 上海訳文出版社 第1版  
林少華[訳](2014). 『挪威的森林』村上春樹[著] 上海訳文出版社 第1版

## 日本語文献

- 影山太郎(1993). 『文法と語形成』ひつじ書房  
北原保雄[編](2015). 『明鏡国語辞典』(第2版)大修館書店  
国立国語研究所(1951). 『現代語の助詞・助動詞：用法と実例』pp. 99-108. 秀英出版  
新潮社. <<https://www.shinchosha.co.jp/book/101019/>>2018年11月1日アクセス  
武部良明(1953). 「複合動詞における補助動詞的要素について」『金田一博士古稀記念言語民族論叢』pp. 461-476. 三省堂  
陳曦(2004). 「中国人学習者における複合動詞の習得に関する一考察—「～あう」と「～こむ」の理解に基づいて—」『ことばの科学』第6号 pp. 59-79  
長嶋善郎(1976). 「複合動詞の構造」『日本語の語彙と表現』鈴木孝夫[編](第4巻)pp. 64-104. 大修館書店; 『語構成』斎藤倫明/石井正彦[編](1997)ひつじ書房  
松木正恵(2005). 『新版日本語教育事典』日本語教育学会[編] p. 93 大修館書店  
西尾実/水谷静夫/岩淵悦太郎[編](2005). 『岩波国語辞典』(第6版)岩波書店  
由元陽子(1996). 「語形成と語彙概念構造」『言語と文化の諸相』奥田博之教授退官記念論文集刊行会[編]pp. 105-118. 英宝社

## 中国語文献

- 湯廷池(1989). 「詞法與句法的相關性：漢, 英, 日三種語言複合動詞的對比分析」, 『漢語詞法續集』pp. 147-211 臺灣學生書局  
王銘宇(2004). 「双字格合成动词构词模式探略」. 『関西大学外国語教育フォーラム』pp. 39-55  
中国社会科学院語言研究所词典编辑室(2018). 『現代漢語詞典』(第7版)商務印書館